



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月4日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東  
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	32,206	△0.6	4,969	△8.0	5,481	△5.2	3,233	△1.3
26年3月期第1四半期	32,400	4.0	5,404	15.9	5,782	16.1	3,277	10.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 3,476百万円 (17.4%) 26年3月期第1四半期 2,960百万円 (△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	55.58	—
26年3月期第1四半期	54.88	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	159,155	103,546	64.3
26年3月期	161,587	102,268	62.6

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 102,378百万円 26年3月期 101,114百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	30.00	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,400	0.7	9,200	△8.8	10,100	△7.0	5,900	△4.3	101.69
通期	134,000	2.6	19,500	1.9	21,300	0.3	12,200	△6.8	210.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期1Q	58,025,000株	26年3月期	58,225,000株
27年3月期1Q	2,766株	26年3月期	2,714株
27年3月期1Q	58,166,196株	26年3月期1Q	59,722,286株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年6月30日、以下「当第1四半期」という)におけるわが国経済は、経済政策や金融政策による円安・株高傾向を背景に、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。一方、消費税増税の影響や新興国経済の停滞など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場の店舗減少傾向が続いているものの、カラオケボックス市場においては、大手事業者の積極的な出店などにより、カラオケルーム数は増加基調にあります。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は微増で推移しております。

この様ななか、当社グループの業務用カラオケ事業におきましては、安定収益源の積上げと商品ラインアップの充実に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業におきましては、カラオケボックスの新規出店と既存店の業績向上に努めました。音楽ソフト事業におきましては、若手アーティストの育成に注力いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は32,206百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は4,969百万円(同8.0%減)、経常利益は5,481百万円(同5.2%減)、四半期純利益は3,233百万円(同1.3%減)となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	32,400	32,206	△193	△0.6%
営業利益	5,404	4,969	△434	△8.0%
経常利益	5,782	5,481	△300	△5.2%
四半期純利益	3,277	3,233	△44	△1.3%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (業務用カラオケ)

当事業におきましては、商品ラインアップを強化するため、本年4月にはLIVE DAMシリーズの第三世代機種「LIVE DAM RED TUNE」を発売いたしました。また、ストック型ビジネスの収益構造を強固なものとするため、機器賃貸の出荷比重を高めることに加え、エルダー市場の拡充などの施策を強化し、安定収益源となるDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に推移いたしました。しかしながら、前期の大手事業者向け取引が剥落したことにより、当第1四半期の売上高および営業利益はともに減少となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	17,130	16,171	△959	△5.6%
営業利益	4,108	3,899	△209	△5.1%

## (カラオケ・飲食店舗)

当事業におけるカラオケルームにおきましては、新店開発および幅広い顧客を取り込むためのマルチブランドと複合型店舗展開を進捗させました。業界初となる「コンビニエンスストア+カラオケルーム」一体型の新業態店舗への出店という新たな挑戦に加え、人気アーティスト等とのコラボルームの開発にも注力いたしました。飲食店舗におきましては、市場や顧客ニーズの変化に迅速・的確な対応を図るため、地域性や客層に合わせた業態開発に注力いたしました。

以上の結果、売上高は本年2月に取得した子会社2社の売上寄与に加え、新店効果により増加となりましたが、営業利益は、新規出店等による先行コストやのれんの償却負担の影響もあり、減少となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	11,284	12,372	1,088	9.6%
営業利益	1,647	1,627	△20	△1.2%

(音楽ソフト)

当事業におきましては、「水森かおり」や「三山ひろし」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「愛乙女★DOLL(らぶりーどーる)」などの若手作品が収益に貢献したものの、音楽配信やCD販売などの事業環境は厳しさを増しています。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,168	2,076	△92	△4.3%
営業利益	110	△32	△142	△129.7%

(その他)

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジ光」の拡販に努めるほか、家庭用カラオケの可能性を探るべくNTT西日本と提携し「光カラオケBOX<sup>+</sup>@DAM」を本年7月よりの提供開始に向け準備を行いました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	1,816	1,586	△230	△12.7%
営業利益	337	240	△96	△28.6%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,431百万円減少し、159,155百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,311百万円増加し、現金及び預金が10,593百万円及び受取手形及び売掛金が456百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、投資有価証券が5,311百万円及びカラオケ貸貸機器が681百万円それぞれ増加し、無形固定資産のその他に含まれるソフトウェアが196百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ3,709百万円減少し、55,609百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では支払手形及び買掛金が164百万円及びその他に含まれる未払費用が1,419百万円それぞれ増加し、未払法人税等が2,997百万円及びその他に含まれる未払金が1,074百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が290百万円増加し、退職給付に係る負債が597百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,278百万円増加し、103,546百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加3,233百万円、退職給付に関する会計基準の変更に伴う利益剰余金の増加447百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,037百万円及び自己株式の取得による利益剰余金の減少603百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が693百万円減少し、利益剰余金が447百万円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	44,223	33,629
受取手形及び売掛金	6,403	5,947
たな卸資産	7,000	7,706
その他	6,233	8,462
貸倒引当金	△131	△117
流動資産合計	63,729	55,627
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	8,289	8,971
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	15,705	15,872
土地	26,095	26,095
その他(純額)	5,588	5,658
有形固定資産合計	55,679	56,597
無形固定資産		
のれん	1,675	1,565
その他	6,016	5,916
無形固定資産合計	7,691	7,482
投資その他の資産		
投資有価証券	14,621	19,932
敷金及び保証金	13,752	13,708
その他	6,234	5,910
貸倒引当金	△121	△104
投資その他の資産合計	34,486	39,448
固定資産合計	97,857	103,528
資産合計	161,587	159,155

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,492	4,657
短期借入金	4,501	4,071
未払法人税等	5,375	2,377
賞与引当金	1,103	527
その他	11,174	11,607
流動負債合計	26,647	23,241
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	13,367	13,657
役員退職慰労引当金	2,296	2,217
退職給付に係る負債	5,075	4,478
その他	1,932	2,013
固定負債合計	32,670	32,368
負債合計	59,318	55,609
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	84,926	85,966
自己株式	△7	△8
株主資本合計	101,270	102,310
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,172	1,347
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	51	76
退職給付に係る調整累計額	△602	△577
その他の包括利益累計額合計	△156	68
少数株主持分	1,153	1,167
純資産合計	102,268	103,546
負債純資産合計	161,587	159,155



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	32,400	32,206
売上原価	18,416	18,747
売上総利益	13,984	13,459
販売費及び一般管理費	8,580	8,489
営業利益	5,404	4,969
営業外収益		
受取利息	196	263
受取補償金	133	-
その他	314	377
営業外収益合計	645	640
営業外費用		
支払利息	73	69
その他	193	59
営業外費用合計	267	128
経常利益	5,782	5,481
特別利益		
固定資産売却益	3	11
投資有価証券売却益	-	36
特別利益合計	3	48
特別損失		
固定資産処分損	96	84
その他	3	0
特別損失合計	100	84
税金等調整前四半期純利益	5,685	5,445
法人税、住民税及び事業税	2,752	2,504
法人税等調整額	△368	△310
法人税等合計	2,384	2,193
少数株主損益調整前四半期純利益	3,301	3,251
少数株主利益	23	18
四半期純利益	3,277	3,233

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,301	3,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△383	175
為替換算調整勘定	43	24
退職給付に係る調整額	-	24
その他の包括利益合計	△340	224
四半期包括利益	2,960	3,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,937	3,457
少数株主に係る四半期包括利益	23	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	17,130	11,284	2,168	30,583	1,816	32,400	—	32,400
セグメント利益 (営業利益)	4,108	1,647	110	5,866	337	6,203	△799	5,404

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△799百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	16,171	12,372	2,076	30,619	1,586	32,206	—	32,206
セグメント利益 (営業利益)	3,899	1,627	△32	5,494	240	5,734	△765	4,969

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△765百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。